

研究協力のお願

昭和大学病院および昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

抗糖化活性を有する医薬品の探索と最終糖化産物と関連する生体成分の解析

1. 研究の対象および研究対象期間

2022年4月から2025年3月に昭和大学病院および昭和大学病院附属東病院を受診（入院・外来）し、血中ペントシジンを測定した患者さん

2. 研究目的・方法

生体内において、タンパク質と糖質が反応すると、最終糖化産物が生成されます。最終糖化産物が皮膚に蓄積することで、シミやくすみの原因になり皮膚の老化を促進することや、糖尿病、骨粗しょう症、がん、高血圧、動脈硬化症、アルツハイマー病などの疾病を引き起こすことが報告されています。最終糖化産物の一つとしてペントシジンがあり、血中ペントシジン濃度は2022年から臨床におけるバイオマーカーの一つとして保険収載され、腎症の早期マーカーとして利用されています。腎症以外にも影響がある生体成分（検査値）を調査することで、各種疾患の解明に役立てます。また、ペントシジンを分解しうる薬を調査・研究することで、将来の最終糖化産物分解薬候補を探索していくことも本研究の目的です。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

血中ペントシジン濃度を測定した患者さんの年齢、性別、身長、体重、主疾患、既往歴、処方薬、血圧、体温、食事内容および摂取量を調査します。血液検査項目として、ペントシジン、RBC、WBC、PLT、ナトリウム、カリウム、ヘモグロビン、HbA1c、総蛋白、アルブミン、グリコアルブミン、BUN、Cr、TG、T-cho、HDL-C、LDL-C、AST、ALT、尿酸、血糖値、HOMA-Rの値を調査します。医薬品については、ペントシジンを測定した患者さんの内服薬および注射薬の種類を調査します。

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6．研究組織

研究責任者 昭和大学薬学部臨床栄養代謝学部門 氏名：唐沢浩二

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学薬学部臨床栄養代謝学部門 氏名：唐沢浩二

住所：品川区旗の台 1 - 5 - 8

電話番号：03-3784-8408